科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18015	2	後期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	ジェンダー論 (Gender Studies)				
担当教員名	熊澤　幸子				

授業の概要及び到達目標

ジェンダーとは文化的、社会的に構成された性である。人が生まれた時から、男女のどちらにも強制的に付与される男らしさ、女らしさのことをいう。長い歴史の中で、文化的、社会的に人々の内面に取り込まれ、社会通念となった慣習を「ジェンダー」という視点で考えていく。男女共同参画社会を念頭に置きながら、日本と諸外国の比較も行う。

準　備　学　習　等

第１回：女らしさ、男らしさを今までの経験をふまえて考える。
＊配布資料、関連する資料、今までの経験などを理解しておく。
＊研究したい人物、発表したい人物像を考えておく。
＊準備学習（予習・復習）は発表研究を別として１時間を目安とする。
＊以下もこれに準ずる。

第２回：配布した資料を読んで、授業に臨むこと。

第３回：新聞・雑誌・テレビなどを注意して、何が問題なのか理解しておくこと。

第４回：発表の準備をする。（レポート作成）

第５回：発表する人物の研究１（情報を収集し、レポートする）

第６回：発表する人物の研究２（情報を収集し、レポートする）

第７回：発表する人物の研究３（情報を収集し、レポートする）

第８回：さまざまな角度から問題点を把握し、考察をし討議の準備をしておく。

成績評価の方法	小レポート（20%）、発表・討論（40%）、課題提出レポート（40%）を総合して評価する。
テキスト	テキストは使用しない。適宜プリント等、資料を配布する。
参考図書	必要な場合は適宜紹介する。

備　　考	新聞やテレビなどの報道に関心を持って、何が問題なのかを考察し、授業の理解を深めることが望ましい。 質問等は授業終了後、教室で受け付けます。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の授業系統図をご確認ください。 課題（レポート）については指定する期間内に提出してください。

授　業　計　画
第１回: ジェンダーの概念について（男女共同参画社会とは） ・性役割、男女観について　・資料の説明と資料レポートの記入 第２回: 労働・職業、家庭生活について　(時代の変遷とジェンダー) ・発表グループの作りグループのメンバーを決める。 ・レポートの見本を提示する。見本を参考にして発表の準備をする。 第３回: ジェンダー視点でとらえた問題点と提言 ・グループでのディスカッションと発表人物についてのレポート作成をする。 第４回：人物・ジェンダー研究１　・グループの発表と討論・感想 第５回: 人物・ジェンダー研究２　・グループの発表と討論・感想 第６回: 人物・ジェンダー研究３　・グループの発表と討論・感想 第７回：人物・ジェンダー研究４　・グループの発表と討論・感想 第８回: まとめ　　・グループ発表の感想・ディスカッションと今後の展望